

『夏休み自由研究講座』で子どもたちがイタイタイ病について学びました。

7月29日（金）、30日（土）に『夏休み自由研究講座～イタイタイ病を学ぼう～』を開催し、2日間で小学生30名、保護者28名の合計58名が参加しました。

この企画は、子どもたちに夏休みの自由研究としてイタイタイ病を学ぶことで、病気の恐ろしさとその克服に向けた取り組みを次世代へ伝えていくために毎年開催しているものです。

参加者は、まずガイダンス映像を視聴し、イタイタイ病の概要を学んだ後、イタイタイ病対策協議会副会長で語り部でもある高木良信さんの展示解説を受けました。

展示解説では、イタイタイ病の恐ろしさや被害の実態、患者の症状、裁判闘争、環境被害対策までの歴史について、ご自身の実体験を交えてお話いただき、参加者は解説を聞きながら熱心にメモをとるなど、イタイタイ病についてより理解を深めているようでした。

また、展示解説の合間には、子どもワークシートを使ったイタイタイ病に関するクイズを行いました。限られた時間の中で、展示や映像に隠された答えを親子で協力して探したり、その時間を利用して高木さんにいろいろ質問しておられる保護者の姿もありました。

『自由研究講座』の後半では、石けんの歴史や成分、そして環境との関わり等について学んだあと、石けん水入りの容器に保湿用オイルや香りの元となるオイルを数滴入れて自分好みのハンドソープを作りました。

参加者のアンケートでは、「富山の『公害』の歴史について触れることができよかった。」「富山の子どもたちにイタイタイ病の話聞いてもらいたい。」さらには、「ハンドソープ作りは楽しかった。家でも作ってみたい。」など様々な意見や感想がありました。

このように、今回の『自由研究講座』では、イタイタイ病という公害の恐ろしさや病気の克服に向けた取り組み、さらには環境と健康の大切さを親子がともになってしっかり学んでいただけたと思います。

資料館では、今後も子どもたちにイタイタイ病に対して興味や関心を持って学んでいただけるような企画を実施していきたいと考えております。



高木良信さんによる展示解説



石けんについての学習

子どもたちがイタイタイ病に関係する場所をバスで巡りました。

8月5日（金）、『イタイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー』を開催し、朝から強い日差しが照りつける中、小学生16名とその保護者14名の合計30名が参加しました。

資料館でイタイタイ病の概要を学んだ一行は、バスに乗り込み、富山市塩地区にあるカドミウム汚染から復元された農地（水田）を見学し、資料館職員から復元工事の方法などについて説明を受けました。

その後、バスは岐阜県飛騨市の神岡鉱業株式会社へと向かい、まず工場から排出された汚れた水や不用な物をためておく和佐保たい積場を見学しました。バスから降りられた参加者は、まず、和佐保たい積場のスケールの大きさに驚かれています。また、会社の方から施設の概要や管理状況等の説明を受けて、施設の果たす役割について理解を深めることができました。

午後は、神岡鉱業株式会社鹿間工場に移動し、会社の事業説明を受けた後、工場内の排水管理センターや排水処理を行うシックナーを見学。工場内の排水が、現在、どのように処理されているかなどについて学びました。

最後は、富山市婦中町の富山太陽光発電所PR館を見学し、かつてカドミウム汚染地であったところに設置された施設で地球環境に優しい再生可能エネルギーのことに楽しく学び、日帰りバスツアーを終えました。

参加者のアンケートでは、「イタイタイ病について詳しく学習できてよかった。」という感想がほとんどでしたが、中でも「今ある当たり前の生活に心から感謝し、物や水、そして電気を無駄にせず、生活していきたい。」という感想が大変印象的でありました。

一日を通して、とても暑い日のバスツアーとなりましたが、普段立ち入ることのできない現場を見学することで、子どもだけでなく保護者もイタイタイ病の恐ろしさや先人たちの克服に向けた取り組みについて理解を深め、それにより、公害を二度と引き起こしてはいけないという思いを強く持っていただけたのではないのでしょうか。



資料館の展示解説



復元田の見学



工場内の施設見学



富山太陽光発電所PR館等の見学

今年も『読み聞かせの会』を開催します。

資料館では、今年も解説ボランティアの方にご協力いただき、小学4年生以上の方を対象とした『読み聞かせの会』を開催いたします。

今回朗読する書籍は、『骨を喰う川 イタイイタイ病の記録』（毎日新聞社編）です。開催日時は、8月20日（土）・24日（水）・27日（土）の3日間、時間はいずれの回も14時15分から15時まで、資料館2階の資料閲覧室で開催します。

事前申込みは不要で、参加費も無料です。参加を希望される方は、開始時刻までに会場へ直接お越しください。

皆様のご来館をお待ちしております。

富山県立イタイイタイ病資料館

『読み聞かせの会』を開催します。

1. 趣 旨
イタイイタイ病資料館の常設展示だけでは伝えることのできない当時の様子について、資料館の解説ボランティアがイタイイタイ病について書かれた書籍を朗読しお知らせする『読み聞かせの会』を開催し、イタイイタイ病の恐ろしさやその克服に向けた取り組みを後世に伝えていくもの。
2. 日程・内容

回	日時	朗読者	朗読書籍・発行
1	8月20日（土） 14:15～15:00	イタイイタイ病資料館 解説ボランティア	『骨を喰う川 イタイイタイ病の記録』（毎日新聞社編）から ・「女の一生」 ・「立ち上がった人たち」 の2章計60ページを3日間にわたり朗読します。
2	8月24日（水） 14:15～15:00	田村 ずみ子さん 吉田 孝子さん	
3	8月27日（土） 14:15～15:00		
3. 開催場所
富山県立イタイイタイ病資料館 2階 資料閲覧室
4. 対象者
小学校4年生以上の方
5. 定員及び参加費
定員：各日20名、参加費：無料
6. その他
 - ・どの回からも参加できます。
 - ・また、1回のみ参加も可能です。
 - ・事前申込の必要はありません。（当日直接お越しください。）


